

2022年度

第1回 一般入試

時間50分 100点満点

国語

受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 実施時間は50分で、100点満点です。時間配分に注意して解答してください。
3. 解答は解答用紙にていねいに記入してください。
4. 解答用紙・問題用紙両方に、受験番号、座席番号、名前を記入してください。座席番号は、机に貼ってある番号のことです。
5. 試験中は携帯電話の電源を必ず切ってください。
6. 私語や物の貸し借りなどは認めていません。困ったことがある場合は、手をあげて先生に相談しその指示に従ってください。

受験番号 _____ 座席番号 _____

名 前 _____

聖学院中学校

□ 次各問に答えなさい。

問一 —— 部分の漢字の読みを答えなさい。

- ① 単純明快な答え
- ② 父の遺産を相続する
- ③ 厚顔無恥も甚だしい
- ④ 矢を放ち攻撃する部隊
- ⑤ 時を告げる鐘の音がする
- ⑥ 進学か就職か思案に暮れる
- ⑦ 悲願の金メダルを獲得できた
- ⑧ トラブルに対して適切な処置を施す
- ⑨ 条件を満たせば二つは相似の三角形だ
- ⑩ お祝いとなれば喜び勇んで駆けつける

問二 —— 部分のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① チアンが悪い地域
- ② 話題のエイガを鑑賞する
- ③ 災害のヨハに苦しめられる
- ④ 秘伝のチヨウミ料を加える
- ⑤ ツイカの注文をうけたまわる
- ⑥ 雨天でもケツコウした運動会
- ⑦ 彼の発言のイトは何だろうか
- ⑧ 失敗から得たキヨウクンを活かす
- ⑨ 現代というゲキドウの時代を生きる
- ⑩ ジンボウに厚い人がリーダーとなるべきだ

□ 清凛女子学院という小中一貫の有名お嬢様学校に通っていた「美貴」は、父親が事業に失敗したために公立中学校に転校しました。美貴はそのような事情を誰にも語らず、現実を嘆きながら学校生活を送っていました。梢と朋華、高梨さん、沢村さんと勉強会を開くまで仲よくなった美貴でしたが、美貴の事情を知った梢とけんかになり、梢にそれをばらされてしまいました。次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(、や。なども一字とします)

次の日から、わたしはひとりになった。教室でも部活でも、誰ともつきあわなくなった。ときどき梢が話しかけようとしてくるのがわかったけど、わたしは頑なに気づかないふりをした。

朋華も高梨さんも沢村さんも、わたしに関わってはこなかった。関わりあいを拒絶する空気を、わたしが発していたせいかもしれないけど、もともと彼女たちは梢の友達だ。梢と仲違いをしたわたしと仲よくする理由はない。

せいせいでいい。そんなふうに強気でいられたのは、最初のうちだけだった。

清凛女子学院に通っていたころは、友達がたくさんいた。こつちに来てからも、梢がすぐに仲間の輪に入れてくれた。自ら望んでひとりになってはじめて、わたしはひとりであることの寂しさを知った。

ひとりぼっちのまま数日が過ぎて、七夕の日になった。公立の中学でも、七夕の給食には七夕ゼリーが出るものらしい。それは紙製のカップに入った白いゼリーで、トッピングに星型の小さなゼリーが二個、申し訳程度に載っていた。

「……安っぽい」

わたしは誰にも聞こえない声でつぶやいた。それから、去年までの七夕ゼリーは、と思いだそうとして、もういいかげん嫌になった。

どんなに強く願ったところで、どうせもうわたしは、清凜にはもどれない。だからこうやっていちいちあのころといまをくらべるのは、ただ無意味につらくなるだけだ。

わたしはため息をついて、食パンに塗るイチゴジャムの小袋を開けようとした。するとそのとき、梢が「ねえ」とわたしに声をかけた。

話をする気はなかったのに、反射的にそちらを向いてしまうと、梢は遠慮がちに言った。わたしの七夕ゼリーを指差して。

「それ、くれない？」

わたしは啞然として梢の顔を見つめた。梢は上目遣いにわたしの返事を待っていた。

驚きとあきれがいらだちに変わり、けれど嫌だと返事をするのも癪で、わたしはゼリーのカップを乱暴に梢の給食のトレイに置いた。ありがと、と梢が言ってきたけど、わたしはそれを無視した。

まったく、①あきれてものも言えないとはこのことだ。いくら食い意地が張っているといたって、よりもよってわたしの給食をほしがるなんて。

胸の中で軽蔑の言葉をならべながら、イチゴジャムの袋を千切ると、いきおいよく飛びだしたジャムがトレイを汚し

て、頭がカツと熱くなった。けれど怒りはすぐに冷えてしぼまり、同時にわたしの心も暗く落ちこんだ。

……どうして、あんな④つづけんどんにわたしたりしてしまったんだろう。気づけばわたしはそう後悔していた。しようがないなあ、と苦笑いでも浮かべて手渡していれば、それをきっかけに梢と仲なおりできたかもしれないのに、と。強がってごまかすことはもうできなかった。梢と仲なおりがしたい。朋華たちともまた仲よくつきあいたい。それはわたしの本心だった。

たしかに梢はわたしが隠していたことをばらした。だけど、もともと悪いのはわたしだ。最初の理由がなんだって、梢はずっとわたしにやさしくしてくれた。わたしをひとりにしなideくれた。なのにわたしはつまらない意地を張って、見栄を張って、梢のことを傷つけて……。

そんなことはもうとつくにわかっていたのに、それでもまだ梢のことを避け続けている自分に、心底嫌気が差した。給食に手もつけず、机の下でぎゅつと両手を握りしめしていると、騒々しいまわりの声が急速に遠ざかっていくのを感じた。

自分が泣きそうになっているのがわかった。けれど涙があふれる寸前で、「美貴」とわたしの名前を呼ぶ梢の声が耳に届いた。

梢のほうを向いたときには、無意識にまた不機嫌な表情になってしまっていて、わたしは心の中で自分をなじった。だけどわたしの不機嫌顔は、梢の持った皿を見た瞬間、驚きで塗りつぶされていた。

その皿のまんなかには、カップから丁寧に取りだされた七夕ゼリーが載っていた。しかもゼリーのまわりは、たくさんの星型のトッピングで飾られ、皿にはイチゴジャムでお洒落な模様が描いてあった。

その模様とトッピングのデザインには見おぼえがあった。勉強会のときに見た、高級スイーツの写真とそっくりだったのだ。

「うおっ、なんだその豪華ゼリー！」

足立くんが驚きの声をあげた。すると朋華が横から、「すごいでしょう、梢シェフのスペシャル七夕ゼリーよお」と自慢する。

「美貴、これ、美貴に……」

梢が⑥おずおずとゼリーの皿を差ししてきた。

「えっ、なんでわたしに……」

「その、この前のお詫びについていうか……美貴、すごく怒ってるだろうから、どうしたら許してもらえるか、みんなに相談したんだ。そしたら朋華がアイデアを出してくれて……」

梢が横目でとなりの朋華を見た。わたしもつられて朋華に視線を移すと、朋華は⑦したり顔で言った。

「⑧ほら、お金で買ったものをあげるのもなんか違うでしょ、この場合。それでいろいろ考えたんだけど、このあいだ美貴があ的高级スイーツの写真をすごく熱心に見てたから、こういうのなら喜んでくれるんじゃないかなあ、って思っ

て」

わたしは言葉を失ったまま、再び梢の顔を見た。梢は目を伏せて、わたしに謝ってきた。

「この前は、ごめん。美貴がつらいのはわかったのに、勝手にいらついで、美貴が秘密にしておきたいことをばらしたりして……」

「違う、梢はなにも悪くない。なのにお詫びなんてもらえないわ」

わたしはとっさにそう言っていた。けれど梢は、「いいから、あたしが美貴にあげたいの。だから、はい」と、ゼリーの皿を差しだしてくる。

わたしはためらいがちにその皿を受け取った。ゼリーを飾る星型のトッピングは、全部で十個あった。トッピングはひとつのゼリーに二個。梢と朋華のゼリーからは、トッピングがなくなっていた。さらにとなりの班に目をやると、高梨さんが恥ずかしそうにほほえみ、沢村さんがいつもの無表情のまま親指を立ててみせた。それを見たわたしは、もう涙をこらえきれなくなってしまうた。

「どうよ美貴、こんなデザート、さすがに前の学校でも出なかったんじゃないの？」

朋華のおどけた科白に、わたしはうん、とうなずいた。当たり前だ。③こんな特別なメニュー、どんな学校の給食だつて、食べられるわけがない。

「ありがとう……それに、ごめんなさい」

ずっと言えなかったその言葉が、自然とわたしの口からこぼれた。にじんだ視界で梢の顔を見つめると、梢はほっとしたような笑みを浮かべていた。

④ 足立くんがわざとらしく聞いてきた。

「いやあ、すっげえなあ、それ。おれのと交換しねえ？」

「……だめ、これは絶対あげない」

涙まじりの笑顔でこたえると、わたしはゼリーをスプーンですくい、イチゴジャムのソースをつけて口に運んだ。

甘酸っぱい味と、ひんやりした食感が口の中に広がる。その味と食感を大切に味わってから、わたしは「おいしい」とつぶやいた。この学校に来てから、給食をおいしいと感じたのはこれがはじめてだった。

(如月かずさ『給食アンサンブル』)

問一 ——線部①「あきれてものも言えない」という表現を使って、短い文を作りなさい。

問二 ……線部④～⑥について、本文中のことばの意味として最もふさわしいものを選びなさい。

④……つつけんどんに

ア、きまり悪く、にがにがしいように

イ、眼中になく、しらじらしいように

ウ、愛想がなく、とげとげしいように

エ、他人行儀（たにぎょうぎ）で、よそよそしいように

⑤……おすおすと

ア、しずしずと

イ、ずけずけと

ウ、もじもじと

エ、こわごわと

©……したり顔

ア、得意げな表情

イ、用心深い表情

ウ、気がかりな表情

エ、思わせぶりの表情

問三 次の各問に答えなさい。

問A 心の底では仲なおりがしたいと考えていることがわかる美貴の振る舞い^ふを十五字以内で抜き出し^ぬなさい。

問B 自己嫌悪から気持ちが揺れ動き、涙が出るのをこらえていることがわかる美貴の振る舞いを二十字以内で抜き出しなさい。

問四 ——線部②について、「この場合」とは、どのような場合ですか。最もふさわしいものを選びなさい。

ア、以前に増して良い関係になれるよう、お互いが気持ちを理解し合い、歩み寄っていく必要がある状況。

イ、かたくなになっている美貴に、梢の本当の気持ちを気づかせ、梢の謝罪を受け入れさせようとしている状況。

ウ、自身のいらいらを解消するために、美貴の知られたくないことをばらしてしまった梢が、謝ろうとしている状況。

エ、独りは寂しいはずなのに、意地を張って無視し続けている美貴の心を、ゆつくりと慎重しんちょうに解きほぐそうとしている状況。

問五 ——線部③について、「こんな特別なメニュー」の名前を考えて答えなさい。

問六 ——線部④について、足立くんがわざとらしく聞いてきた理由として最もふさわしいものを選びなさい。

ア、二人に笑顔が戻って場が和んだところで大げさにほめれば、気前よくゼリーを分けてもらえると思ったから。

イ、あえて筋違いなことを言って断られることで、美貴の気持ちを梢にはっきりと示すことができると思ったから。

ウ、ゼリーを交換してもらえないかわいそうな自分を示すことで、この場から離れるきっかけが得られると思ったから。

エ、次の機会にでも同じような豪華ゼリーが食べたいので、ゼリーを交換することで仲間に入れてもらえると思ったから。

三 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(、 や 。 などとも一字とします)

私たちの名前に対する考え方は、大きく二つに分けることができる。ひとつは、(A)、名前はその人そのものであるという「名実一体観」。もうひとつは、名前は人物を特定する符号に過ぎないという「名前符号観」とでも呼べる考え方。私たちの名前に対する感覚は、この二つの考え方の間をさまざま程度で行き来している。

日本の「名実一体観」は、すでに古代から神々、ミカド、天皇の名を書いたり口に出すことを避ける「実名敬避」の伝統にみられる。さらに、古代・中世においては、自分の名前を知らせることが、その人の弟子や従者になる、あるいは、敵に降伏する意味を持っていた。

実名敬避の伝統は、現代でも、目上の人を名前で呼ぶことを避けるという形で残っている。会社では、下の方は上の人を名前ではなく職名で呼ぶが、上の人は下の人を名前で呼ぶ。社員は、社長を「社長」と呼ぶ。しかし、社員に、「社員」と呼びかける社長はいない。「中村さん」と名前で呼ぶ。目上の方は下の人を名前で呼んでも良いのだ。家庭でも、弟は兄を「兄さん」と呼ぶが、弟を「弟さん」と呼ぶ兄はいない。学校でも、生徒は先生を「先生」と呼ぶが、生徒を「生徒」と呼ぶ先生はいない。

それ以外にも、名実一体観は、さまざまな所に顔を出してくる。

私たちは名前の言い間違い、読み間違い、書き間違いは、他のことばの間違いと比べて、失礼なことだと認識してい

る。卒業式で、名前を読み間違えられたら、がっかりだ。①「スマホ」「パソコン」など、なんでも省略して短く言う時代でも、人の名前は本人の承諾がなければ省略しない。

先日公園に行ったら、「シロー」と呼ぶ声があった。すると、声の主をめぐって真つ黒な犬が走り寄ってきた。ちぎれるほどにしっぽを振って飼い主に頭をなでもらっている黒い犬を見て、飼い主のユーモアに、②ほっこりした。そして、「シロ」の意味など関係なく、自分の名前に反応する犬をかわいらしく思った。これも、「シロ」という名前ならば白い犬だろう」という名実一体観を裏切る命名だったからこそ感慨だろう。

名実一体観は、日本に限ったことではない。ファンタジー文学のベストセラー『ハリー・ポッター』シリーズでも、多くの魔法使いが、闇の帝王「ヴォルデモート」を「名前を言っではいけないあの人」と呼び、その名前を口にしないばかりか、ハリーがその名前を言うと、③あたかも、名前そのものが本人であるかのように恐ろしがる。

グリム童話の中には、自分の名前を当てられると怒って自分自身を引き裂いてしまう小人が出てくる、『がたがたの竹馬こぞう』という話がある。

名実一体観を大きく変更させたのが、明治五(一八七二)年に明治政府が発表した改名禁止令と複名禁止令である。それまでの日本では、元服、襲名、出家、隠居など立場が変わることに改名していた。元服をすれば幼名から成人名へ(伊達梵天丸→伊達政宗)、隠居をすれば改名(滝沢馬琴→滝沢笠翁)、出家をすれば俗名から戒名へ、職業、立場、地位の変更が必然的に改名をとまっていた。このうち、戒名は現在でも機能している。仏壇の中の位牌に書いてある名前だ。

さらに、官名や国名など一人の人が同時に複数の名前を使うこともまれではなかった。「赤穂浪士」あこうろうしで有名な大石内蔵助くらのすけの「内蔵助」は官職を指し、元の名は、大石良雄だ。宮本武蔵の武蔵は、武蔵の国からきている。

江戸時代まで日本は多くの藩はんに分かれていた。しかし、明治時代になって、日本をひとつの国に統合しようとしていた明治政府にとっては、国民を把握はあくしてしつかり徴兵・徴税することが重要であった。そのためには、国民が名前を変えたり、同じ人が複数の名前を使っていたのでは困る。そこで、一人がひとつの名前を使って戸籍を編製するように定めたのだ。改名するためには、国に届けて承認してもらわなければならないようになった。

私たちにとって当たり前になっている「一人にひとつの名前」が生まれた背景には、国家が国民を管理する目的があった。以降、国家は国民の名前をさまざまな形で規制していくようになる。

これを読んで、「そんなことはない。私の好きなアーティストは、みんな、個性的な名前で活躍かつやくしている」と、思った人がいるかもしれない。その通りだ。私など、どちらが歌の題名で、どちらが歌手の名前なのか、わからないときがある。しかし、そんなアーティストも、税金を納めるときや、健康保険に加入するときには、戸籍こせきに登録した氏名を使っているはずだ。

一人一名主義は、名前を、個人を識別する符号のようにみなす考え方に結び付いた。その結果、現代の私たちは名前に関して名実一体観と名前符号観の両方をあわせもつにいったのだ。

（中村桃子『「自分らしさ」と日本語』）

問一 ……線部㉔㉕㉖のことはについて、次の各問に答えなさい。

問 A (㉔) に入ることばとして最もふさわしいものを選びなさい。

ア、名が売れる

イ、名を連ねる

ウ、名は体を表す

エ、名に恥じない

問 B ……線部㉗「ほっこりした」の意味として最もふさわしいものを選びなさい。

ア、胸を打たれた

イ、心が温まった

ウ、胸をなで下ろした

エ、ほほ笑ましく感じた

問 C ……線部㉘「あたかも」ということばを使って、短い一文を作りなさい。

問二 「実名敬避」について、次の問に答えなさい。

問A 実名敬避が見られる組み合わせとして最もふさわしいものを選びなさい。

ア、親と子

イ、店員と客

ウ、審判と選手

エ、カメラマンとモデル

問B 実名敬避の背景にあるものとして最もふさわしいものを選びなさい。

ア、信頼関係

イ、上下関係

ウ、因果関係

エ、前後関係

問三 ——線部①について、名前を省略しない理由として最もふさわしいものを選びなさい。

ア、名前と実体は切り離せないから。

イ、体の一部を失うことを連想させるから。

ウ、その人を軽視していじめにつながるから。

エ、読み方が失礼なものになることもあるから。

問四 「名前符号観」について説明されているのはどこからか。最初の七字を抜き出しなさい。

問五 大問②に登場する「朋華」はどのような人物ですか。次に抜粋した箇所と名前を参考にして答えなさい。なお、

「朋」を使う熟語として「同朋」や「朋党」、「朋輩」、「朋友」などがあります。

【抜粋①（5ページ）】

すると朋華が横から、「すごいでしょう、梢シェフのスペシャル七タゼリーよお」と自慢する。

【抜粋②（5ページ）】

梢が横目でとなりの朋華を見た。わたしもつられて朋華に視線を移すと、朋華はしたり顔で言った。

「ほら、お金で買ったものをあげるのもなんか違うでしょ、この場合。それでいろいろ考えたんだけど、このあいだ美貴があ的高级スイーツの写真をすごく熱心に見てたから、こういうのなら喜んでくれるんじゃないかなあ、って思って」

【抜粋③（6ページ）】

「どうよ美貴、こんなデザート、さすがに前の学校でも出なかったんじゃないの？」

朋華のおどけた科白に、わたしはうん、とうなずいた。

問六 ここではあなたは結婚を予定している女性と想定します。あなたは配偶者（パートナー）となる人に別氏を選択する希望を話し出します。どのような理由が考えられますか。本文と次の抜粋された文章をふまえて、最もふさわしいものを選びなさい。

選択的夫婦別氏制度とは、夫婦が望む場合には、結婚後も夫婦がそれぞれ結婚前の氏を称することを認める制度です。なお、この制度は、一般に「選択的夫婦別姓制度」と呼ばれることがあります。民法等の法律では、「姓」や「名字」のことを「氏」と呼んでいることから、法務省では「選択的夫婦別氏制度」と呼んでいます。

現在の民法のもとでは、結婚に際して、男性又は女性のいずれか一方が、必ず氏を改めなければなりません。そして、現実には、男性の氏を選び、女性が氏を改める例が圧倒的多数です。ところが、女性の社会進出等に伴い、改氏による社会的な不便・不利益を指摘されてきたことなどを背景に、選択的夫婦別氏制度の導入を求める意見があります。

法務省としては、選択的夫婦別氏制度の導入は、婚姻制度や家族の在り方と関係する重要な問題ですので、国民の理解のもとに進められるべきものと考えています。

（法務省ウェブサイト「選択的夫婦別氏制度（いわゆる選択的夫婦別姓制度）について」の「選択的夫婦別氏制度」については？）

ア、子どもができれば、食費とか教育費とかで長期的に出費が多くなると思うの。納税額を少なくするために、別氏を選択したいの。

イ、ここまで成し遂げてきたことがあるのに、氏が変わることで別の人間みたいにとらえられたら嫌。だから、別氏を選択したいの。

ウ、私、別氏を選択したいわ。だって、今の名前に愛着があるし、私の友達がよそよそしく感じて離れていったら、あなた、責任とれる？

エ、私、別氏を選択したいわ。結婚して自分たちの家を作ることになるから、親にはそうそう頼れないわ。ましてや国に管理されるのは嫌。

三								二					一					
問六	問五	問四	問三	問二	問一			問六	問五	問四	問三		問二	問一	問二		問一	
				問A	問C	問B	問A				問B	問A	A		⑥	①	⑥	①
				問B									B		⑦	②	⑦	②
													C		⑧	③	⑧	③
															⑨	④	⑨	④
															⑩	⑤	⑩	⑤

受験番号
座席番号
名前

2022年度

入学 第一回 一般入試 査問 題

国語・解答用紙

聖学院中学校